

失語症会話パートナーを

知っていますか？



失語症とは



脳卒中や脳外傷などによって、脳の言語中枢が傷つくと起こります。言葉が出にくくなるだけでなく、聞いて理解すること、文字の読み書きも不自由になります。判断力や記憶力は病前と変わりません。

例えば・・・
「メガネ」と言いたいのに『トケイ』と言ってしまう・・・など

失語症になると

- ★ 日常の何気ない会話も不自由になる
- ★ 仕事や学業を続けられなくなる
- ★ 趣味活動や社会参加が難しくなる
- ★ 人との交流が減り、孤立する
- ★ 障害があまり知られておらず、周囲の人に誤解される



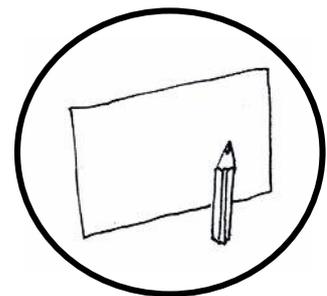
失語症の人が理解しにくい話しかけ方

失語症の人とコミュニケーションをとるコツ

①簡単に、ゆっくり話す

②質問の仕方を工夫する

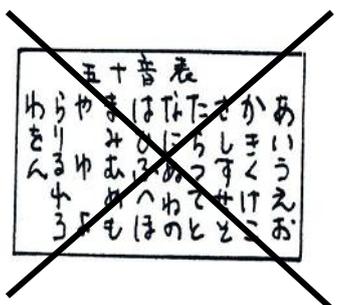
- ❖ 「はい」「いいえ」で答えられるような具体的な質問をする
- ❖ 答えを選べるように準備する
(例)「何を食べますか?」と聞くときは具体的にメニューの写真を準備しておくなど



筆記用具は必需品

③文字や絵などの道具を使う

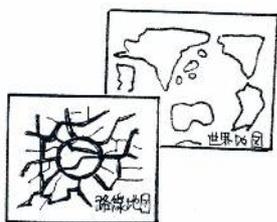
- ❖ ひらがなより漢字を使う
- ❖ 数字は間違いやすいので書いて確認する
- ❖ 要点を単語で書いて示す。文では書かない。



五十音表は難しい

《 コミュニケーションをとる時にあると便利なもの 》

地図（世界地図や日本地図、
路線図など）



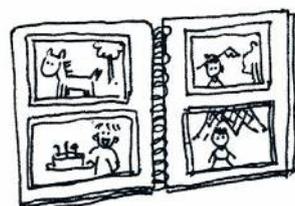
カレンダー



時計



アルバム



失語症会話パートナーとは

失語症の人が抱える悩みや生活の不便さを理解し、スムーズにコミュニケーションができるように社会との橋渡し役をする人のことです。

❖ 失語症の人と

上手にコミュニケーションをとるためには、

- ① 失語症の人の「思い」を知りたいという気持ち
- ② 失語症についての正しい知識に基づいたコミュニケーション技術の習得が必要です。

失語症会話パートナーは、失語症の人が、より積極的に社会に参加できるように支援します。

失語症会話パートナーの役割



話し相手

わかりやすく
書いてサポート



会話の橋渡し



板橋区失語症会話パートナー養成講座

年1回、おとしより保健福祉センターにて開催しています。

養成講座では、講習4回のほか、演習や実習を通して学びます。

養成講座の募集については、

「広報いたばし」に掲載します。



失語症会話パートナーの活動場所

養成講座の修了者は、ボランティアグループ

「板橋失語症会話パートナー 笑顔」を作って活動しています。

- ☆ サロン「朝顔」・・・福祉の森サロン活動としてゆっくり会話を楽しむ会
- ☆ サロン「青空」・・・福祉の森サロン活動としてゆっくり会話を楽しむ会
- ☆ 撫子（なでしこ）・・・料理・会食をするグループ
- ☆ おしゃべりの会・・・復職希望・復職された人のグループ
- ☆ 虹の会・・・失語症の人や家族のグループ
- ☆ カナリア会・・・失語症など言葉に障がいのある方とその家族のグループ
- ☆ スイスイの会・・・50代くらいまでの若い失語症の方のグループ

【 問合せ先 】

おとしより保健福祉センター 介護普及係

〒174-0063 板橋区前野町 4-16-1

TEL : 09-5970-1120 FEX : 06-5392-2060